

令和7年度 春採湖ウチダザリガニ捕獲事業

1. 事業概要

春採湖には特定外来生物であるウチダザリガニが多数生息しており、これらが湖内の水草を捕食することでヒブナその他の魚類や水鳥等の生息環境に対する影響が危惧されている。この事業は水草の減少要因と考えられるウチダザリガニを捕獲することによって春採湖及びその周辺の生態系を保全することを目的としており、平成18～19年度にかけて行った「春採湖ウチダザリガニ生息状況調査」の結果を基に平成20年度から本格的な捕獲作業を実施している。

併せて、市民を対象に特定外来生物について理解を深めてもらうため、体験イベント等の実施により普及啓発を行っている。

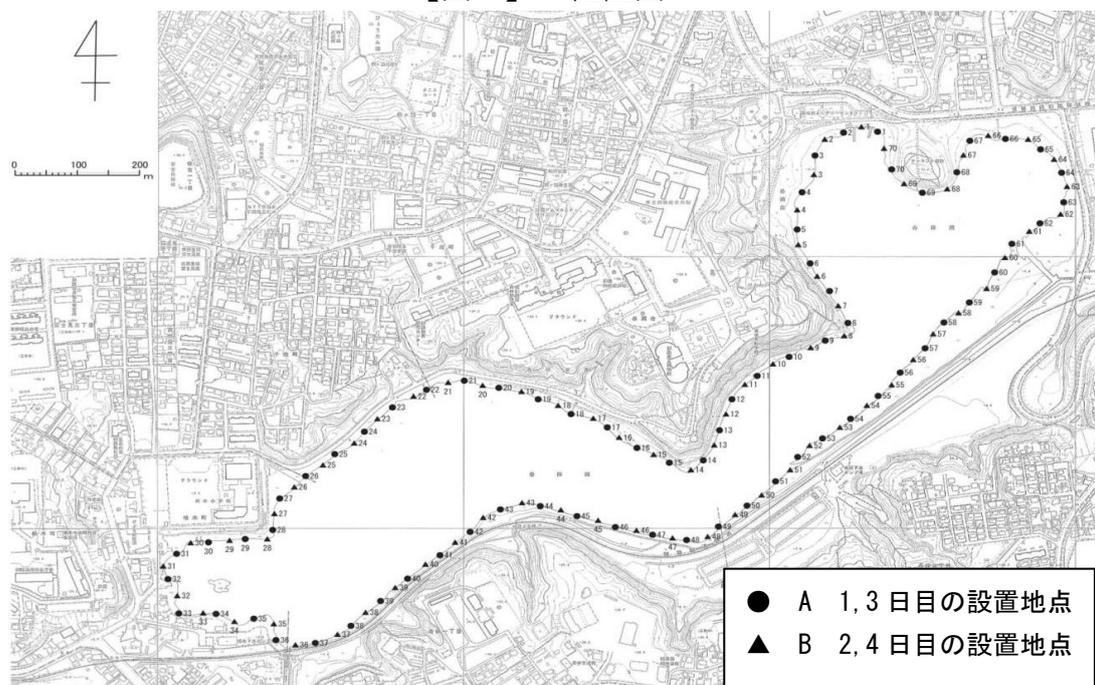
2. 捕獲方法

NPO法人環境把握推進ネットワーク-PEGへ捕獲業務を委託し、年2回（6月、9月）の捕獲業務を実施した。

1回目、2回目共に、春採湖岸一円の140箇所を捕獲地点とし、1日目に約60m間隔の70箇所に漁具（どう）を設置し、翌日に漁具（どう）を引き上げ、30m移動した地点に再度設置し（図1参照）、5日間の工程で繰り返し実施した。

※9月調査においては、令和7年9月25日は悪天候の影響により漁具（どう）の引き揚げ作業が実施できなかったため、28日に引き揚げ作業を実施した。

【図1】 位置図



3. 捕獲結果

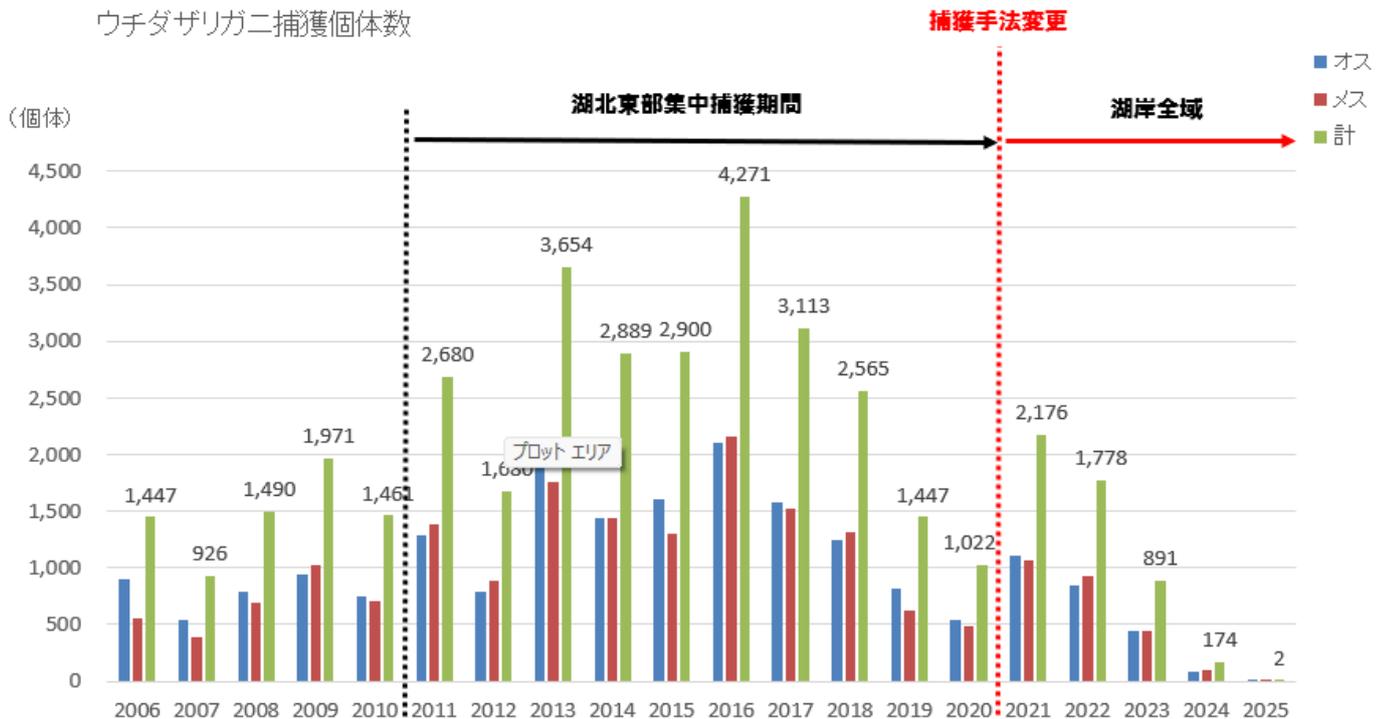
(単位：個体)

実施年月日	雄	雌	合計
令和7年6月22日～6月26日	0	0	0
※令和7年9月21日～9月28日	1	1	2
合計	1	1	2

※9月25日～27日は作業未実施

○捕獲実績（平成18年度～令和7年度）

ウチダザリガニ捕獲個体数



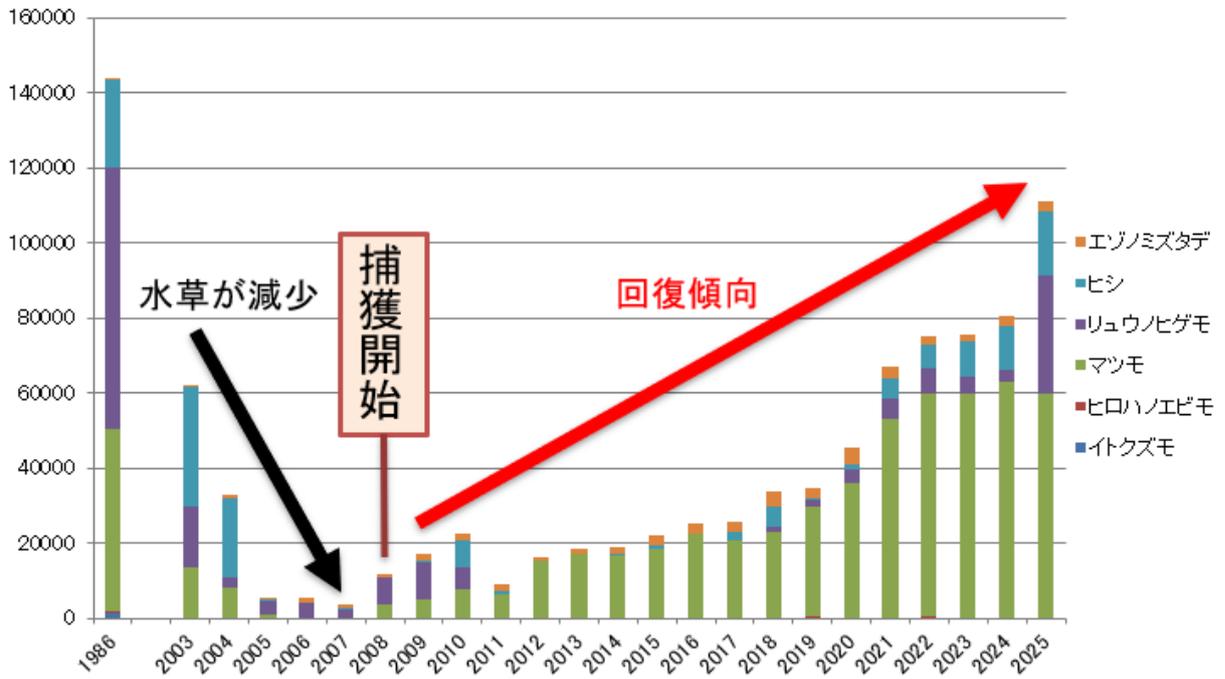
4. 市民啓発事業

令和7年8月16日（土）に、春採湖畔において「春採湖のウチダザリガニ捕獲体験教室」を開催した。

今年度はこども8名保護者6名にご参加いただいた。

専門家による外来生物の解説や、ウチダザリガニの捕獲を体験していただいた後、春採湖周辺の外来種を探索する「外来種 BINGO」を実施し、ウチダザリガニと春採湖周辺に生息する外来種について詳細に学んでいただいた。

○春採湖における水草の分布面積の年変動 (春採湖調査会会長 神田房行氏作成資料より抜粋)



○令和7年度 水草の生育場所 (令和7年度春採湖ウチダザリガニ捕獲業務報告書 抜粋)

